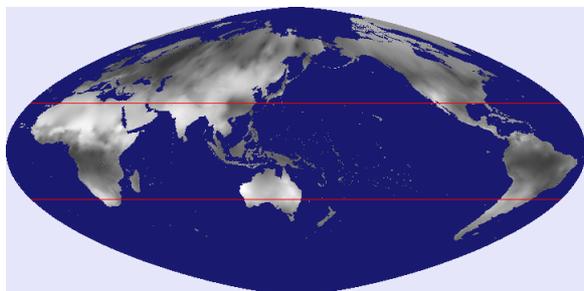


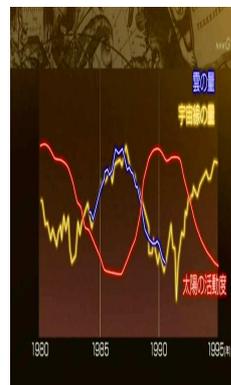
CRU-TS3.1 雲量と太陽黒点相対数について(1901-2009)

1) はじめに

- ・CRU-TS3.1 の109年間の雲量データを、モルワイデ図法で作図し、そこから3地域の年平均雲量を求めた。
- ・ネットで入手した太陽黒点相対数と合わせ地域ごとにグラフ化した。
- ・NHK番組「迫りくる太陽の異変」で、「スベンスマルク効果」が紹介された。
- ・番組で説明に用いられた期間を色を変えた。

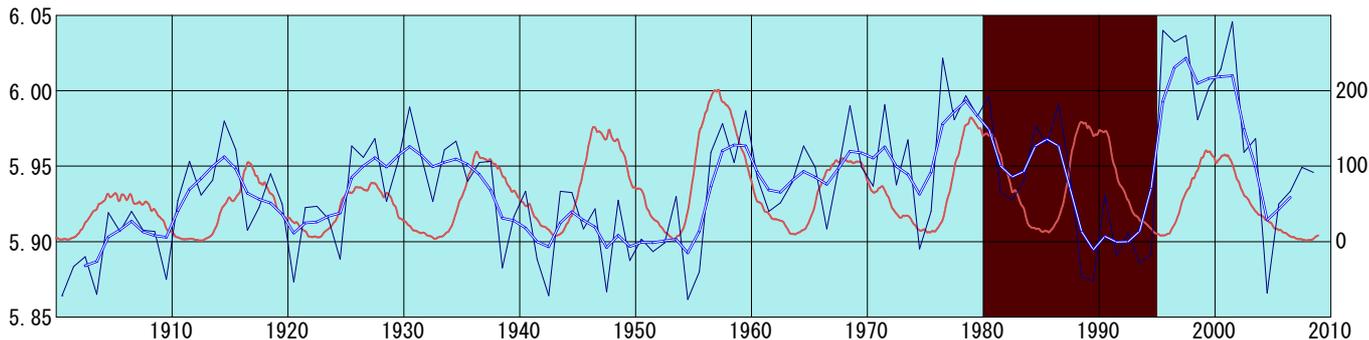


北緯30度、南緯30度で3分割

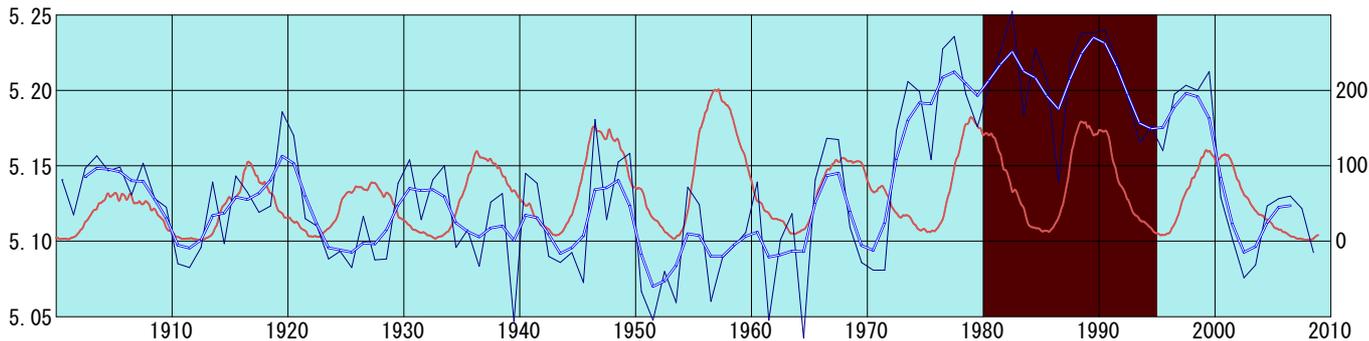


NHKコズミックフロント「迫りくる太陽の異変」より、縦横比変更

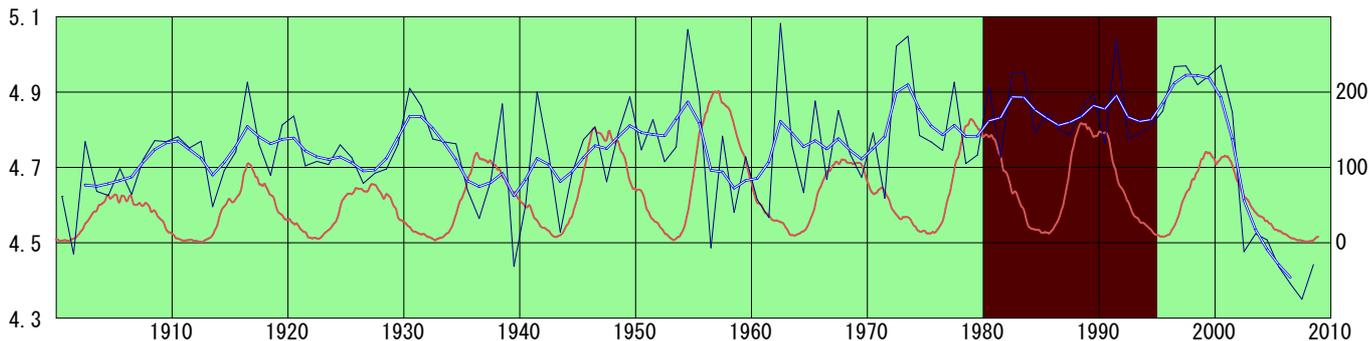
2) 北緯30度以北の雲量 (ひと月のデータ数: 27242)



3) 北緯30度から南緯30度までの雲量 (ひと月のデータ数: 23668)



4) 南緯30度以南の雲量 (ひと月のデータ数: 2208、前2図とY軸尺度が異なる)



— 雲量太線: 加重移動平均(1+2+4+2+1) — 太陽黒点相対数: 13月移動平均

雲量: <http://www.cgiar-csi.org/data/item/104-cru-ts-31-climate-database>

太陽黒点相対数: <http://sidc.oma.be/DATA/monthssn.dat>

モルワイデ図法: <http://ja.wikipedia.org/wiki/モルワイデ図法>